

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : neodisher MA Dental  
 会社名 : ミーレ・ジャパン株式会社  
 住所 : 〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-24-12 オリックス目黒ビル 4F  
 電話番号 : 03-5740-0034  
 緊急連絡電話番号 : 03-5740-0034  
 推奨用途及び使用上の制限 : 業務用洗浄消毒機専用洗剤

## 2. 危険有害性の要約

### 【GHS分類】

物理化学的危険性	可燃性固体	: 分類できない
健康有害性	急性毒性(経口)	: 分類できない
	急性毒性(経皮)	: 分類できない
	急性毒性(吸入)	: 分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分 1
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分 1
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 2(神経系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
	環境有害性	水生環境有害性(急性)
水生環境有害性(長期間)		: 分類できない
オゾン層への有害性		: 分類できない

(追記)混合物の約 90%は水生環境有害性が不明の成分である。

### 【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
 : 重篤な眼の損傷  
 : 臓器(神経系)の障害のおそれ  
 : 水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後は手及び眼をよく洗うこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・環境への放出を避けること。

[応急措置]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</li> <li>・皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。</li> <li>・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</li> <li>・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</li> <li>・直ちに医師に連絡すること。</li> <li>・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。</li> <li>・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。</li> </ul>
[保管]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施錠して保管すること。</li> </ul>
[廃棄]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。</li> </ul>

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：混合物			
成分	濃度範囲 (%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
エトキシ化脂肪族アルコール	1～10	—	10-2782(安衛法)	146340-16-1
ケイ酸ナトリウム五水和物	25～50	Na <sub>2</sub> O <sub>3</sub> Si <sub>2</sub> ·5H <sub>2</sub> O	1-508(化審法・安衛法)	10213-79-3
無機物 1	>30	非公開	非公開	非公開
無機物 2	25～50	非公開	非公開	非公開

### 4. 応急措置

吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粉じんを吸入した場合、新鮮な空気の場所へ移動させ、鼻をかみ、うがいをさせる。</li> <li>・必要に応じて医療措置を受ける。</li> </ul>
皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付着した部分は流水で流した後、石けんを用いてよく洗い落とす。</li> <li>・痒み、痛み等、皮膚に異状が生じた場合は医師の診察を受ける。</li> </ul>
眼に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粉じんが眼に入った場合、こすらず、清浄な水で最低 15 分間洗眼する。</li> <li>・洗眼の際、まぶたを指でよく開き、眼球のすみずみまでよく水が行きわたるように眼を上下左右に動かす。</li> <li>・必要に応じて医療措置を受ける。</li> </ul>
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水で口の中をすすぎ、医師の診察を受ける。</li> <li>・無理に吐かせてはならない。</li> <li>・嘔吐が自然に起こった場合は、気管に入らないように身体を傾ける。</li> </ul>

### 5. 火災時の措置

この製品自体は不燃性であるが、容器/包装等が燃えた場合は、通常の方法で消火する。	
消火剤	・粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡、水噴霧
使ってはならない消火剤	・特になし
火災時の特有の危険有害性	・有毒なガス(一酸化炭素、無機酸化物等)が発生するおそれがある。
特有の消火方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却する。</li> <li>・移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。</li> <li>・消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。</li> </ul>
消火を行う者の保護	・消火作業は必ず自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・回収作業の際には保護具を着用すること。
- ・風下で回収作業をしてはならない。
- ・粉じんの吸入、眼や皮膚への付着を避けること。

環境に対する注意事項

- ・粉じんの大気中への飛散、土壌、下水、河川、排水溝等への流出を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・飛散しないように注意しながら、ほうき等で掃き集め、密閉できる空容器に回収する。
- ・回収物は「13. 廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・換気の良い場所で作業を行い、状況に応じて局所排気装置を使用して取扱う。
- ・粉じんの吸入及び眼、皮膚との接触は避ける。
- ・ばく露のおそれがある場合は、適切な保護具を着用すること。
- ・取扱い後はうがい、手洗い、洗顔を励行する。
- ・長期間の取扱い、あるいは反復したばく露はできる限り避ける。

保管

- ・直射日光及び高温を避け（推奨条件：0～30℃）、乾燥した換気のよい場所に保存する。
- ・元の容器を使用し、容器は確実に密閉する。
- ・耐溶剤性及び不浸透性の床に保管すること。
- ・混触危険物質から離して保管する。（第10項参照）

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置するのが望ましい。
- ・室内換気を良くし、必要に応じて集塵機、局所排気装置を設置する。

管理濃度 作業環境評価基準

- ・設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会<sup>1)</sup>

- ・第3種粉塵（吸入性粉塵）2mg/m<sup>3</sup>（総粉塵）8mg/m<sup>3</sup>（その他の無機および有機粉塵）

ACGIH-TLV<sup>2)</sup>

- ・設定されていない

保護具

呼吸用保護具

：防じんマスク、送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器等

手の保護具

：不浸透性の保護手袋（ネオプレン製、ブチルゴム製、ニトリルゴム製）

眼の保護具

：保護眼鏡又は防災面

皮膚及び身体の保護具：保護衣、保護長靴、前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

外観

：白色固体

臭い

：特異臭

臭いの閾値

：データなし

pH

：約 12(10%溶液/20℃)

融点・凝固点

：データなし

沸点、初留点と沸騰範囲

：データなし

引火点

：非該当

蒸発速度

：データなし

燃焼性(固体、気体)

：データなし

燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度	: 1015~1065kg/m <sup>3</sup>
溶解度	: 水に可溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
(参考データ) <sup>3)</sup>	
融点・凝固点	: 622°C(無機物 1)、884°C(無機物 2)
比重	: 2.52(無機物 1)、2.7(無機物 2)
水溶解性	: 14.5g/100ml(25°C)(無機物 1)、非常によく溶ける(無機物 2)

## 10. 安定性及び反応性

反応性	・危険有害反応可能性の項参照。
安定性	・通常取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	・混触危険物質に触れると反応するおそれがある。
避けるべき条件	・直射日光、高温
混触危険物質	・酸
危険有害な分解生成物	・高温に晒されると有毒なガス(一酸化炭素、無機酸化物等)が発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

製品としてのデータはないが、成分としてのデータを以下に記す。

### 急性毒性

#### [経口毒性]

ケイ酸ジナトリウム五水和物	マウス	LD <sub>50</sub>	1200 mg/kg <sup>4)</sup>
無機物 1	ラット	LD <sub>50</sub>	3120 mg/kg <sup>5)</sup>
無機物 2	マウス	LD <sub>50</sub>	5989 mg/kg <sup>5)</sup>

#### [経皮毒性]

無機物 1	ウサギ	LD <sub>50</sub>	>4640 mg/kg <sup>5)</sup>
-------	-----	------------------	---------------------------

#### [吸入毒性]

記載すべき成分データなし

注)LD<sub>50</sub>:半数致死用量

### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

エトキシ化脂肪族アルコール	皮膚刺激を有する。 <sup>6)</sup>
ケイ酸ジナトリウム五水和物	ウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果、腐食を伴う重度の刺激性を示した。 <sup>4)</sup>
無機物 1	ウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果、中等度の刺激性を示した。 <sup>5)</sup>

### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

ケイ酸ジナトリウム五水和物	皮膚腐食性物質であるため、区分 1 とみなした。 <sup>4)</sup>
---------------	--

### 呼吸器感受性

記載すべき成分データなし

### 皮膚感受性

記載すべき成分データなし

### 生殖細胞変異原性

ケイ酸ジナトリウム五水和物	無水物を用いたマウスによる in vivo 体細胞変異原性試験の結果、陰性だった。 <sup>4)</sup>
発がん性	産衛、IARC、ACGIH、NTP、EPA の発がん性物質リストに記載されていない。 <sup>1)2)</sup>

生殖毒性	記載すべき成分データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	記載すべき成分データなし
ケイ酸ナトリウム五水和物	神経系への障害のおそれがある。 <sup>4)</sup>
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	記載すべき成分データなし
吸引性呼吸器有害性	記載すべき成分データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
エトキシ化脂肪族アルコール	水生生物に対して極めて有毒である。 <sup>6)</sup> 長期継続的影響によって水生生物に対して有害である。 <sup>6)</sup>
残留性・分解性	
無機物 1	既存化学物質安全性点検において、良分解性と判定されている。 <sup>7)</sup>
生体蓄積性	記載すべき成分データなし
土壌中の移動性	記載すべき成分データなし
オゾン層への有害性	記載すべき成分データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄の際に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</li> <li>・ 多量の場合は認可を受けた専門業者に委託する。</li> <li>・ 関係法令を遵守し、自治体の指示に従うこと。</li> </ul>
汚染容器及び包装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</li> <li>・ 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。</li> </ul>

## 14. 輸送上の注意

国連番号	: 3253
品 名	: トリメチルケイ酸ナトリウム混合物
国連分類	: 8(腐食性物質)
容器等級	: III
応急措置指針番号	: 154
海洋汚染物質	: 非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船舶又は航空機で輸送する場合は「UN」マーク入り容器を使用し標札を表示する。</li> <li>・ 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書(イエローカード)を渡す。</li> <li>・ 容器の破損、洩れ、栓の閉まり具合を確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。</li> <li>・ 車両等への積み下ろし作業の際は、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、車止めを施す。</li> <li>・ 「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載に準じて取扱う。</li> <li>・ 輸送関係法規を厳守する。</li> </ul>

## 15. 適用法令

消 防 法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(リスクアセスメント対象)；非該当
毒劇物取締法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当
船舶安全法	: 危規則告示 腐食性物質(製品)
港 則 法	: 危規則告示 腐食性物質(製品)
航 空 法	: 告示 腐食性物質(製品)

## 16. その他の情報

引用文献	: 1)「許容濃度等の勧告(2017年度)」 産業衛生学雑誌 59 巻 2)2018 Guide to Occupational Exposure Values (ACGIH) 3)国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版(国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)) 4)GHS 分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) 5)Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (CCOHS) 6)製造メーカーの「安全データシート」(2017年) 7)化審法データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
記載内容の問合せ先	: ミーレ・ジャパン株式会社 電話番号；03-5740-0034

ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。必要かつ安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。

なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうることをご承知下さい。